

# 冬の菊池さん

## \* 行事報告 \*

菊池寛記念館 第27回文学展

菊池寛 生誕130年・没後70年記念

# 菊池寛をふりかえる



2018年11月20日（火）～12月26日（水）に開催しました第27回文学展には、大勢のお客様に御来場いただき、誠にありがとうございました。

この文学展は「菊池寛 生誕130年・没後70年記念 菊池寛をふりかえる」と題し、菊池家の御協力のもと、初公開となる菊池家所蔵の古文書や、寛の直筆原稿、愛用品、写真など数多くの貴重な資料を展示するとともに、多彩な交友関係やエピソードなどを紹介しました。

会場内では、寛の肉声を聴いたり動画も観たりすることができ、親しみをもって展示を御覧になられたお客様も多かったようです。

講演会や朗読会、コンサートなどの関連イベントにも多くの方に御来場いただき、職員一同大変感謝しています。

今後も、当館は文学がより身近なものとなりますよう、様々な企画やイベントを開催してまいります。皆様の御参加をお待ちしております。

## \* 行事予定 \*

※行事内容は一部変更になる場合がございます

### ◆ 菊池寛アニバーサリー ◆

菊池寛忌である3月6日(水)から3月17日(日)まで、菊池寛アニバーサリーを開催します。期間中、菊池寛記念館常設展示室で**古本まつり**、**菊池寛クイズ**、「ある自由主義者の走馬灯～菊池寛の人・作品・世界」の上映を実施するほか、様々なイベントがあります。

- ★3月6日(水) **菊池寛忌** **アートでめぐる!ブラリきくちかん** (ウォーキングイベント)
- ◆3月8日(金) **映画上映会「蟬しぐれ」**  
**学芸員によるコレクション展「菊池寛と久米正雄」ギャラリートーク**
- ◆3月9日(土) **菊池寛劇場** (朗読劇や語りなどの公演、出演:劇団ドラマサロンなど)
- ★3月10日(日) **書道教室「心に残る名言・名文を書こう！」**  
(講師:高松市歴史資料館前館長 穴田豊久氏)

※古本まつりに提供していただける本を募集しています!

- ・菊池寛記念館受付までお持ちください。
- ・御提供いただきました古本については、当館の一任とさせていただきますので、御了承ください。

★印のイベントは申し込みが必要です。各イベントの詳細は後日、市広報、チラシ、ホームページなどで、お知らせします。

### ◆ 文芸講座 ◆

- ◆2月2日(土) **日本近代小説の流れとその時代** 講師:市原 信夫氏 (文芸同人誌『四国作家』代表)
- ◆3月2日(土) **1スジ、2ヌケ、3ドウサ** 講師:中西 博文氏 (「映画の楽校」代表)

会場:サンクリスタル高松3階 第1集会室  
時間:13時30分～15時

※**申込み不要・入場無料・先着80名**

リバイバル上映!

## 「ある自由主義者の走馬灯～菊池寛の人・作品・世界」



期間:3月6日～17日(11日は休館)

場所:菊池寛記念館 常設展示室

※常設展示室は入館料が必要です。一般200円、大学生150円。団体20人以上は2割引。高校生以下無料。65歳以上は年齢確認ができる物を、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は手帳の提示で観覧料が免除されます。

11月10日、サンポートホール高松大ホールにて、「シンポジウム ふるさとと文学 2018～菊池寛の高松」を開催しました。

初めに、講談師・神田松鯉氏の語り、ヴァイオリニスト・佐藤久成氏の演奏により、菊池寛の生涯や人柄を紹介する映像「ある自由主義者の走馬灯～菊池寛の人・作品・世界」(構成脚本:吉岡忍氏、映像制作:四位雅文氏)が上映されました。

次に、俳優・中村敦夫氏による**菊池寛の「閻魔堂」の朗読**が行われ、不気味なテーマを迫真の演技で表現されました。

最後に、作家の阿刀田高氏、下重暁子氏、松本侑子氏、そして菊池寛の孫である菊池夏樹氏による**パネルディスカッション**が、山田健太氏(専修大学教授)の進行のもと行われました。御来場くださった皆様、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

上記のとおり、映像のみ期間限定で、菊池寛記念館の常設展示室内のテレビにて随時上映いたします。お見逃しになった方、もう一度見たい方は、ぜひ御来館ください。



### 冬の菊池さん第46号

発行:平成31年1月25日 菊池寛記念館(高松市昭和町一丁目2番20号/087-861-4502)  
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/kikuti/kantop.html>

